

兵庫シニアクラブ

兵庫退職者連合定期総会を開催、安心して暮らせる社会の構築に全力

徳永良信 通信員

兵庫退職者連合（会長・高原澄夫）は、健康寿命を伸ばし、安心して暮らせる社会を作ろう！と、4月19日午後2時からラッセホール2階（神戸市）で第26回定期総会を開いた。

総会には130人（代表議員106人、役員24人）が出席、18年度の活動方針（案）、予算（案）など6議案を審議。すべて満場一致で採択した。また「現・退一致」の活動を推進、労働運動のOBとしてだけでなく、組織された生活者として、安心して健康で暮らせる社会を構築していくために仲間の力を結集し全力を尽くす・・・との総会宣言を採択した。

当日は総会に先立って、同会場で17年度の「兵庫退職者連合会川柳祭典」が開かれ、表彰式が行われた。応募作品は総数で357句（97人）。お題は「付度・そんたく」、「失言・暴言」。選者は渡辺信男氏（兵庫県現代詩協会）。

表彰式では、特別賞の兵庫退職者連合会長賞に、飯塚ミハル氏の「付度の外で草の根伸びている」、他4人が選ばれ楯と表彰を授与された。優秀賞には課題ごとの5作品。佳作も課題ごとに8作品が選ばれた。

活動方針は「現・退一致」を基本に退職者運動の充実をはかる。社会保障制度の充実を求める活動を引き続き進める。組織強化と拡大に取り組む等を活動の基本に具体的な取り組みとして、①年金・医療・介護保険など社会保障制度の改革に向けた取り組みを「連合兵庫」とともに運動の強化を図る。②日本退職者連合の活動に兵庫退連として積極的に参加する。③兵庫退職者連合の組織拡大に向けて、連合兵庫全構成組織からの加盟に向けて働きかけを行う。④男女平等参画を実効ある運動にするため兵庫退職者連合定期総会など、各級機関への女性の参加を促進する。⑤「兵庫高齢者の集い」を引き続き開催する。全員が広く参加できる集いにする。⑥会員相互の親睦を図るため新たな取り組みを検討する。⑦来年の統一地方選挙と参議院議員選挙は重要な選挙、連合兵庫が推薦する候補者全員の当選を期した支援活動を行う等を決めた。